



泊小学校だより ～潮風の中でたくましく～

令和2年4月23日

第2号 校長 栗原 歳盛

103名でスタートした令和2年度、子どもたちは新しい目標やめあてを持ち、落ち着いて学習や生活をしています。

朝の登校でのあいさつをしていると、高学年を中心に班長さんがよく気遣い、安全に気をつけて、あいさつも明るい声が聞こえ、気持ちがいいです。下級生もはきはきとしたあいさつをしています。いいあいさつがもっともっと広がっていきそうなので楽しみにしています。

学習中教室を回っても、落ち着いて聞いたり、みんなにノートを元にして説明したりする姿があり、積み上げていくとぐんぐん今年もみんな伸びていきそうだと感じています。

さて、やる気いっぱいのこのスタートの時期に、新型コロナウイルス拡大防止のための緊急事態宣言を受け、臨時休校期間が設定されました。

4月の学習時間が削減され、不安な方もあると思います。そんな中ですが、本校も「児童一人ひとりが力を発揮しながら輝いていける学校」でありたいと考えています。

そのために、本年度の努力点でも紹介しましたが、「少人数指導を生かした個別指導の充実」「学校全体で共に生き、共に歩いていく取組」の両方を大切にしながら1年間頑張っていきたいと思います。



＜しおかぜ集会＞

全校での活動として、「しおかぜ集会」が行われました。「しおかぜ集会」では、しおかぜ学級手づくりのカレンダーが各学級に手渡されました。大切に使いしていきたいと思います。

泊小学校全体が仲間であり、児童一人ひとり、10学級全てが大切です。全校で力を合わせて前進していけるようにしていきたいと思います。

各教室にカレンダーを
プレゼント



参観日がありませんので、各学年の学習のひとこまを紹介します。どの学級も、よく集中して活動していました。



1年生かきかた「さ」の練習



2年生せいかつ「どんなやさし知ってる？」



3年生外国語活動ドキドキ第2回目



4年生外国語活動「動物の特徴から」



5年生国語「なまえつけてよ」の音読



6年生国語「詩・小景異情」

家庭連絡票の記述欄の変更について

本年度より、家庭連絡票の記述欄を1, 2学期分について変更したいと考えております。PTA評議員会では事前に説明をさせていただきました。

本校の家庭連絡票は、全体所見欄以外に「道徳」「総合的な学習の時間」「外国語活動」の記述欄がありました。記述欄がたくさんあり、一人一人についてわずかな学習の様子しか伝えられないという反省がありました。

そこで、本年度1, 2学期についてはこの3つの欄を割愛し、3学期にまとめて、お知らせしたいと思います。毎学期の全体所見欄で、お子様の様子についてはしっかりお伝えしていくこととしますので、ご理解頂きますよう、よろしくお願いします。本来でしたら、PTA総会でしっかり説明し、ご理解をいただきたいところではありますが、このお知らせで説明に替えさせて頂きたいと思います。

毎日の消毒で 油断せず 校内の衛生管理に心がけて



新型コロナウイルス拡大防止に向けて、泊小学校では、4月10日より児童の下校後、毎日消毒をしています。特に、各教室や特別教室等のドアノブ、スイッチ、階段や廊下の手すり、トイレのドアノブやスイッチ、便座などを中心に消毒を行っています。各階毎にグループを作り、消毒液での消毒後、水ぶきで拭き取ります。

学校としても衛生管理を心がけていますが、児童には手洗いを徹底するよう指導しています。

3月分の学習ほぼ修了

各学年で、3月分の未習内容について記録を元に、国語、算数、理科、社会、生活等の学習を進めました。児童はどの学年も順調に学習を進め、ほぼ修了しました。該当学年の学習も始まっているため、昨年度のテストの実施は後日に行ったり、復習プリントとして活用したりすることもあります。

家庭学習で、繰り返し練習等しますので、また様子を見てあげてください。

休校中の暮らしについて

さて、このたびの全都道府県への緊急事態宣言を受けて、鳥取県教育委員会、湯梨浜町教育委員会の決定により、4月27日（月）から5月6日（水）まで臨時休業日とすることとなりました。配布文書の繰り返しになりますが、休校中の暮らしについて、お願いをいたします。

- 生活リズムを崩さないよう、学習の計画を立てて生活しましょう。配布した「家庭学習の手引き」を活用してください。
- 検温、手洗い、マスクの着用を心がけましょう。
- 適度な運動を心がけましょう。
- 不要不急の外出を控え、家族以外とのふれあいをできるだけ減らしましょう。

あいさつが日に日によくなっているな、と感じています。数メートル先からでも、いい声のあいさつが届くことが増えました。遠くからの元気のいい声で振り返ることもあります。

あいさつがきちんとできる力は、生涯にわたるその人の財産だと思います。対人関係を築く上で、また、自分のキャリアをよりよく実現していく上で、身に付いているか、付け焼き刃なのかで人生が変わると思っています。

私たちが、子どもたちにあいさつの力を身につけてほしいと願うのは、その人の人生の宝物を育てていかななくてはならないという思いがあるからです。

ありとあらゆる場を捉えて「うれしいものだな」「すてきな気持ちになるぞ」「相手がこんなにいい表情だぞ」と感じられるよう、大人が伝え育てていきたいです。

私は、全てのお店で食事をしたら、「ごちそうさまでした」とお店の人に声をかけて出ます。家族で行ったときはなおさらきちんと声かけをします。たぶん家族も別のお店できちんと「ごちそうさまでした」と声をかけていると信じていますが・・・。